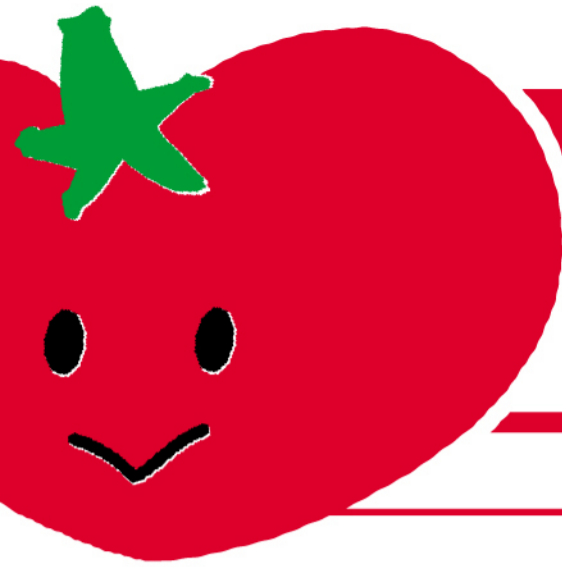


とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2008.11 November vol.7



みんなので田畑を守る

島根の農業

私たちの食の安心・安全のために

9月16日から10月8日まで開会した9月定例議会でも、農業、福祉、教育の分野について、皆さんが抱えている疑問や不満、意見をもとに質問をしました。「どんなことでも小さなことでも声を出し続けていく」という考えから、以前質問したことその後はどうなっているのかを問いました。

耕作放棄地をなくす

農家の高齢化と担い手の不足により、耕作されない田畑が増えています。そして、荒地は、害獣の住処となり近隣の作物を荒らしたり、害虫の発生源になったりしています。また景観

的にも農村の風景を壊し、農業家のやる気を萎えさせてしまいます。

県内には一生懸命地域の放棄地の解消に取り組む人たちがいますが、それが広がっていないのはどのような原因でしょうか。耕作できるようにしても労力を費やした



9月定例議会で一般質問

だけに終わり、収入となる作物が栽培できない、あるいは作っても販路が見えないなど農業経営として成り立っていないということもあり

子どもの心の問題の解消に

私は民主県民クラブの仲間と、新しくできた心の医療セン

とかが来ています。

質問 耕作放棄地解消には、ただ単に農業従事者や関係者だけで対応するのではなく、県全体の問題として県民がとらえ参加できるような形にしておく必要がある。そうした仕組み作りがまず必要ではないか。

心の医療センターの役割は？

質問 子どもの心の問題に対応するために、県における保健・医療・福祉の連携と地域の連携体制づくりを検討するとの前回の答弁であったが、こういった連携体制を構築する考えなのか、そしてその中で心の医療センターがどのような役割を果たすのか。

健康福祉部長 県内の子どもの心の診療には、県内2つの病院が中核的な役割を担っている。心の医療センターは、これまで児童思春期の子どもの外来と、分校の併設あるいは専門病棟での入院治療という特色ある精神科医療を行ってきた。さらに、教育センターと心の医療センターが連携した「こころ・発達」教育相談室を開設し、子どもやその保護者、学校等の教職員を対象に教育相談を行っている。

美しい棚田を守る

雲南市大東町の山王寺地区では、地区内の棚田の耕作放棄地が増えたことから、危機感を持たれた住民の有志の皆さんが、美しい棚田の復元と地域の活力を取り戻す取り組みを県民の協力を得て始められ、現在では、松江市などの親子100人近くが、地域の住民の人たちと一緒に、年数回にわたり農作業体験などに取り組んでいます。

私も、松江市忌部町の隣で何回か街宣などでこの地を訪れたことがあります。夏は緑に、秋は黄金色に、段々となった田んぼが染まり、美しい山村の風景が広がります。



沿道を飾る花壇

で作られたおにぎりが販売されていて、私もこのおにぎりと塩田地区のしし鍋汁でお昼をいただきました。地元で採れた食材を地元の人による調理でいただくことが、食の問題が騒がれている今、一番の贅沢ではないでしょうか。

また、大東へ向かう忌部街道は住民の人たちによる花壇作りが盛んで、今は真っ赤なサルビアが沿道を飾っています。



手入れされた山王寺地区の棚田

発行者 角 智子 〒690-0064 島根県松江市天神町132
TEL.(0852)28-8880 FAX.(0852)28-8881
E-mail sumi@tomachan.net
U R L http://www.tomachan.net/

とまちゃん通信

子どもの心の問題、児童虐待や発達障害に対処する必要性はますます高まっています。連携体制の構築は、極めて重要であると認識している。

現在、各圏域では、処遇困難なケースなどを通して、病院、診療所等との連携はかなりできつつあるが、県内全域に及ぶネットワークの構築は今後の課題と認識している。今後、心の医療センターや島根大学医学部附属病院の持つ利点を生かしながら、どのようなネットワークを構築するか、その実施のあり方も含めて、両病院初め関係機関と協議を重ねながら検討したい。

● 情緒障害児短期治療施設の設置は？

質問 子ども心の問題に対応するためにも情緒障害児短期治療施設の設置が必要だと考えるが、いかがか。

健康福祉部長 現在、その設置に意欲を示している社会福祉法人と具体的な検討に入り、関係機関との協議も行っているが、多くの課題もある。医師の常勤配置が基準となっているが、特に小児科、精神科の医師は県内でも不足している状況で、国に基準緩和を今働きかけるなど、設置に向けた取り組みを行っている。

● 教員免許更新制度の実施を前に

教員の資質の向上を目的に、平成19年6月の改正教育職員免許法により来年4月から教員免許更新制が始まります。この制度の実施により、免許取得後10年ごとに更新対象の教員は12時間の必修科目と18時間の選択科目の講習を受け、免許更新をしなければ教員の資格を失うこととなります。

教員の皆さんは課外活動の指導や教材研究など忙しい中であつて、この講習が過重な負担とならないような対応が重要です。特に、この制度の実施の目的の一番は、教員の指導力を高めることであり、子どもたちがが学校で安心して学び過ごせるための取り組みとなるよう望みます。

● 教員への情報提供などは？

質問 制度開始にあたっての課題と対応について伺う。

教育長 本格実施に向けては、管理職の研修など機会を創出して皆さんへの周知を進めることにより、教員のさらなる不安をかき立てることのないよう配慮してまいります。

今年度行われる予備講習は、県内では島根大学、県立大学、全国では120を超える大学などで実施されている。

島根大学での受講者の感想は、80%以上の受講者が、講習のねらいや到達目標が明確であった、教育をめぐるさまざまな状況などを習得することができた、教職への意欲の再喚起になったなどの高い評価だった。これは島根大学が受講者のニーズを事前に把握し、講習内容を工夫したことによる。島根大学とはこの3月から、連携、協力に関する協議会を設置して、講習内容や該当者の把握などについて情報交換を進めている。

今後も、大学と十分に連携をとり、受講者にとっても本県教育の向上にとつても効果のある教員免許の更新制となるように努めてまいります。

● 受けてよかったと思う研修に

介護に係わる職員の資質の

向上を図るために研修が行われることは、サービスの質を高め、高齢者や障害者の皆さんが安心して介護を受けることができるようになるために必要です。そのために県でも、それぞれの職に応じた研修を実施されていますが、その中で受講者の皆さんから「施設管理者として受けなければならぬ認知症介護実践研修(実践者研修)が、以前受けた認知症介護ヘルパー研修とかなりの部分が重なっていた。福祉の現場はぎりぎりの職員で忙しく働いているが、その時間を割いて研修を受けたが、研修の意味がないように感じた」という疑問の声が上がっています。

● 認知症介護実践研修(実践者研修)の実施にあたり、研修の内容を精査してカリキュラムを作成されたのか、また、重複する科目の受講免除について検討されたのか。

健康福祉部長 「認知症介護ヘルパー研修」は、対象をホームヘルパーに限定し、認知症に関する知識と技術を備えるため、国の研修内容をモデルに本県独自の内容で組み立てたもの。一方、「認知症介護実践者研修」は、国がカリキュラムを定め、主に施設介護職員が対象で、この研修の受講が地域密着型サービスの管理者や計画作成担当者資格要件になっている。

この2つの研修は、対象や趣旨を異にしているが、内容が重複していることは事実で、また指摘の受講者の負担の軽減も大切なポイントであると考えた。したがって、この2つの研修内容は一度検証し、重複する部分のあり方を検討し、改善したい。

● 木造住宅の耐震化

1年前に質問しました木造住宅の耐震化については、早速、今年度から助成制度が実施されました。しかし、この制度は市町村が実施主体となっているため、制度の普及に対する県の取り組みが必要です。

● 制度の実施状況は？

質問 県では各市町村に対しどのように働きかけているのか、また、実施状況はどうなっているのか。

土木部長 現時点では、補助制度を有しているのは1市(松江市)のみだが、新たに3市町で補助の実施が検討されている。市町村が補助制度を創設する場合、耐震改修促進計画の策定が前提で、今年度末までに13の市町が計画の策定を完了する予定。計画策定済みの市町へ、速やかな補助制度の創設を促すとともに、全市町村での補助制度の実施に向け、引き続き働きかけていく。

● 利用しやすい制度に

質問 何といつても住宅の耐震化には多額の費用を要し、その工事費自体を最小限に抑えるために、日常多く使われる部分を中心に部分改修ということも考えられるが、そうしたことも対応できる制度に変えることについての考えはないのか。

土木部長 国は平成27年度までに100%の耐震性能を有する住宅の割合を9割とする目標を定めている。県もこの枠組みの中で補助制度を実施しており、現在は100%の耐震性能を有するものを対象としている。しかし、国でも、部分的な改修について議論が始まっており、国の動向を注視しつつ、今後の見直しについて研究する。

質問 資産を担保に生活資金を融資するリバースモーゲージを活用する方法もあるが、この制度の普及もあわせ、使いやすい制度にしていく必要があるのではないかと。土木部長 リバースモーゲージによる資金調達は有効な制度であるが、現在、県内の金融

● 国の政治を変える力に

来る総選挙に向けて、こむろ寿明予定候補の事務所開きが10月7日にありました。

昨年の参議院選挙では、連合、民主党、国民新党、社民党が協力し、保守王国と言われたこの島根から、亀井亜紀子さんを国政に押し上げることができました。今度は衆議院選挙で同じ協力体制で政

機関では取り扱われていない。国は、リバースモーゲージを扱う金融機関に対し、住宅金融支援機構による支援が検討されていると聞いており、実施となれば、県内の金融機関での取り扱いも期待できることから、引き続き、情報収集に努めていく。

権交代を目指し、こむろ寿明さんを応援します。

こむろさんは、これまで県議会として4期14年、県政に取り組んできた実績があり、政治に対する思いは深く、謙虚で真面目に物事に取り組みられる人です。この国の政治を変える力になります。「国民の生活が第一」の政治を実現するのは、有権者一人一人の「変わる勇気」をもった行動です。みなさんの力で、この国の政治を変えましょう。



10月7日 こむろ寿明さん、亀井亜紀子参議院議員とともに街頭であいさつ